

■ ステージⅢ検定会（アルペンスキー・スノーボード・テレマークスキー）

【受検会費】 検定料・・・新規：25,100円（保険料含む）

※他種目のステージⅢ以上有資格者は1000円（保険料・事務手数料）

再受検：1科目6,300円、2科目12,300円、3科目18,300円、4科目以上25,100円（保険料含む）

※再受検は、他種目のステージⅢ以上有資格者も同様。

※受検者教育の参加費は別途必要です。

【受検資格】 ① 受検する種目のステージⅡ資格取得者であること。また公認スキースクールで活動し、受検を開始する年の4月1日現在満20歳以上の者。

② 公認スキー学校長の所属証明書を提出できる者。（申込書に記入）

③ 実技（110時間）・指導実習（15時間）以上の修了証明書を提出できる者。

【受検手続】 ① 申込用紙に記入捺印の上、上半身の写真2枚（3.0cm×2.4cm）を貼り、受検会費と共に提出する。

② 受検料の有効期限は、初受検年より1年以内とする。ただし、理由の如何を問わず受検料の払い戻しはしない。

【再受検】 ① 合格点に達しなかった科目のみを再受検をすることができる。

② 再受検の有効期限は初受検年を入れ3年とする。ただし、再受検料は新たに納入しなければならない。

③ 同シーズン内に再受検が可能。

【基礎理論科目】 <アルペンスキー・ステージⅢ>

①スノースポーツの変遷 ②指導者論・技術検定

<スノーボード・ステージⅢ>

①スノースポーツの変遷 ②指導者論・技術検定

<テレマークスキー・ステージⅢ>

①スノースポーツの変遷 ②指導者論・技術検定

【実技検定】 <アルペンスキー・ステージⅢ>

①パラレルターン・ロング伸身 ②パラレルターン・ロング屈身 ③パラレルターン・ショート

④総合滑降 ⑤指導実習 ⑥ポール体験（試験なし）

※総合滑降は「ターンリズムを変化させた滑り」で、踏み換えターンを含まなくて良い

※「ポール体験」ではヘルメット着用義務があります。ハーフヘルメットで構いませんが、スキー用のヘルメットを必ず着用してください。

<スノーボード・ステージⅢ>

①ロングターン ②ショートターン（両脚操作） ③総合滑降 ④エアー ⑤指導実習

<テレマークスキー・ステージⅢ>

①フロントステップターン ②テレマークターン・ロング ③テレマークターン・ショート ④総合滑降 ⑤指導実習

【使用教材】 <アルペンスキー・ステージⅢ>

「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」（芸文社） ※書店にない場合は、SIA事務局までお申込下さい。

「定款 定款施行細則 規約規程」

「SIA年表」「安全な指導法実習」 ※SIAホームページ（www.sia-japan.or.jp）よりダウンロード

<スノーボード・ステージⅢ>

「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」（芸文社） ※書店にない場合は、SIA事務局までお申込下さい。

スノーボードティーチングブック改訂版 ※SIA事務局までお申込下さい。

「定款 定款施行細則 規約規程」

「SIA年表」「安全な指導法実習」 ※SIAホームページ（www.sia-japan.or.jp）よりダウンロード

<テレマークスキー・ステージⅢ>

「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」（芸文社） ※書店にない場合は、SIA事務局までお申込下さい。

「定款 定款施行細則 規約規程」

「SIA年表」「安全な指導法実習」 ※SIAホームページ（www.sia-japan.or.jp）よりダウンロード

【その他】 ① 前後泊希望者は、同時に申し込んで下さい。

② いかなる理由でも、締切以後のキャンセルについては、受検料・保険料は返却しません。

※宿泊料・リフト券はこの限りではありません。

受検者教育概要

(検定会を受検するためには、受検者教育を受講することが必要です。)

講習はパート1、パート2に分類されます。雪上の講習内容は両者で差異はありませんが、基礎理論の科目は異なります。

【受検予定の方】

- ・基礎理論の講習まで受講することが必要です。
- ・パート1・パート2をそれぞれを必ず一回以上、検定日までに受講することが必須です。
- ・受検者教育受講を開始後、3年以内に受検してください。

【受検予定ではなく研修として参加する方】

- ・ステージⅡ以上の有資格者はステージⅢの受検者教育に参加されることをお勧めします。
- ・ステージⅠおよびアシスタントの方はステージⅡの受検者教育に参加されることをお勧めします。
- ・雪上のみ(基礎理論講習なし)の受講も可能です。
(2単位取得可、単位登録料は参加費に含まれています)。
べ切後に「基礎理論講習」の追加申込みはできません。

【参加費】

基礎理論講習あり：5,400円 基礎理論講習なし：4,300円

2018-2019ステージⅢ指導実習試験テーマ

<アルペンスキー・ステージⅢ>

1. 基礎パラレルズレ大～ズレが少ないパラレルターンの導入
2. 上下動を使ったパラレルターン・ロングの導入(ストックワーク含む)
3. ショートターンの導入(ストックワーク含む)
4. 外足の捉えが弱いスキーヤーに対しての指導
5. 深まわりターンができないスキーヤーに対しての指導

<スノーボード・ステージⅢ>

1. ロングターンからショートターンへの導入(両脚操作)
2. ロングターンズレからキレへの導入(両脚操作)
3. 後ろ脚操作ターンに必要な運動説明と導入(ターンサイズ自由)
4. ショートターンの導入(後ろ脚操作)
5. 前脚操作ターンに必要な運動説明と導入(ターンサイズ自由)
6. ショートターンの導入(前脚操作)
7. スライドスイッチの導入(フロントサイド、またはバックサイド)

<テレマークスキー・ステージⅢ>

1. フロントステップターンの有効性の説明と導入
2. バックステップターンの有効性の説明と導入
3. ターン弧を洗練させる説明と導入
4. ショートターンの導入
5. ターン切り換え時に両脚が揃って止まってしまう人への矯正法

選択種目について

「選択種目認定証の写し」提出について、下記のように変更となっています。

・新規受検

「選択種目認定証の写し」の提出は不要です。

・再受検(実技・指導実習検定会を受検中)で「選択種目認定証の写し」未提出の方

アルペンスキー＝国際スキー技術検定セミ・シルバー以上または同等の技能検定(SAJ3級以上)

スノーボード＝スノーボード技術検定セミ・シルバー以上または同等の技能検定(SAJ・JSBA3級以上)

テレマークスキー＝テレマークスキー技術検定シルバー以上または同等の技能検定(TAJレベルI以上)

①「公益社団法人 日本プロスキー教師協会 ステージⅢ検定会 申込書」の提出

②「検定料・保険料・宿泊料・リフト券代」等の入金

③「使用教材」の準備